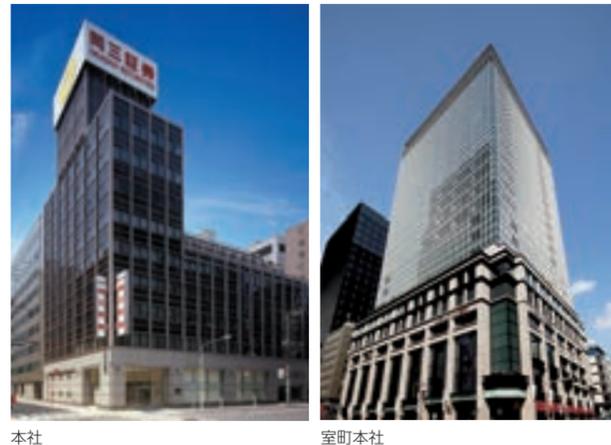


■ 会社概要 (平成30年11月19日現在)

商号 株式会社岡三証券グループ
(OKASAN SECURITIES GROUP INC.)
所在地 東京都中央区日本橋一丁目17番6号
創業 大正12年4月4日
設立 昭和19年8月25日
資本金 18,589,682,639円
従業員数 3,751名 (第81期第2四半期連結ベース)
上場金融商品取引所 東京・名古屋証券取引所



本社

室町本社

■ 株式の状況 (平成30年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 750,000,000株
発行済株式の総数 208,214,969株
株主数 21,642名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	9,732	4.87
農林中央金庫	9,700	4.85
三井住友信託銀行株式会社	8,726	4.37
大同生命保険株式会社	8,660	4.33
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,822	2.91
有限会社藤精	5,266	2.63
株式会社りそな銀行	4,937	2.47
株式会社みずほ銀行	4,925	2.46
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者資産管理 サービス信託銀行株式会社	4,924	2.46
株式会社三菱UFJ銀行	4,848	2.43

※ 当社は、自己株式8,342,039株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



株価および出来高の推移(東証・月間)



■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月中旬に開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数 100株
※平成30年10月1日をもって単元株式数を1,000株から100株へ変更いたしました。
公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載) <http://www.okasan.jp>
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031 (平日9:00~17:00/土・日・休日を除く)
(URL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主さまは、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、株主さまの口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社の口座をご利用されていない(特別口座に株式のある)株主さまは、左記電話照会先までご連絡ください。

配当金のお受取り方法について

配当金のお受取り方法につきましては、便利なご指定口座への口座振込による方法のほか、証券会社のお取引口座において株式数に応じてお受取りいただく方法、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口でお受取りいただく方法がご利用いただけます。

お手続きにつきましては、株主さまの口座のある証券会社または三井住友信託銀行(特別口座に株式のある株主さま)へお問い合わせください。

株主のみなさまへ

第81期中間のご報告 (平成30年4月1日~平成30年9月30日)

株式会社 岡三証券グループ

■ ごあいさつ

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。本年度に入り、日本各地で多くの自然災害に相次いで見舞われております。被災されたみなさまに、心からお見舞い申し上げ、一日も早い復興を祈念いたします。さて、第81期中間のご報告をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。現在、社会、政治、経済等の様々な分野において、旧秩序が揺らぎ、新たな時代への移行が意識される時代に差し掛かっているように感じています。当社グループでは、2023年の創業100周年を越え、さらにその先の新たな時代を見据えた経営をすべく、企業価値の向上に向けた改革を進めております。



取締役社長 新芝宏之

本年9月には、社会全体のイノベーションの推進にも資するべく、ベンチャー企業等への投資を目的とした新会社「岡三キャピタルパートナーズ」を設立しました。中核企業である岡三証券では、お客さまの多様なご要望に対して、より付加価値の高いサービスでお応えできる環境づくりを進め、働き方改革、生産性の向上を推進いたしました。岡三アセットマネジメントでは、中国人民元建て債券ファンドなど、新たな制度にも機動的に対応し、新商品の開発、提供に取り組みました。

創業以来培ってきた「お客さま大事」の経営哲学を貫き、グループの総合力を活かして新たな時代にふさわしいお客さまへのサービスを提供し、持続的な成長と長期的な企業価値向上を実現するために、グループ役員一同邁進する所存でございます。

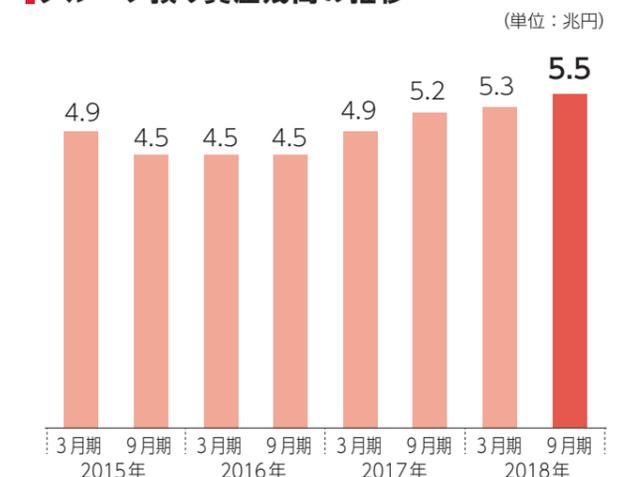
株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年11月

■ グループ口座数の推移



■ グループ預り資産残高の推移



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

科 目	(単位：百万円)		科 目	(単位：百万円)	
	前年度第2四半期 (平成29年9月30日)	当年度第2四半期 (平成30年9月30日)		前年度第2四半期 (平成29年9月30日)	当年度第2四半期 (平成30年9月30日)
<資産の部>					
流動資産	537,467	368,446	流動負債	409,002	239,974
現金・預金	63,130	69,838	トレーディング商品	124,677	39,948
預託金	74,313	68,279	約定見返勘定	—	160
トレーディング商品	189,480	88,620	信用取引負債	15,249	20,217
約定見返勘定	4,243	—	有価証券担保借入金	79,872	14,475
信用取引資産	43,605	47,229	預り金	49,564	46,858
有価証券担保貸付金	152,527	81,619	受入保証金	36,521	36,880
その他の流動資産	10,166	12,859	短期借入金	95,158	74,375
固定資産	79,777	76,588	その他の流動負債	7,958	7,057
有形固定資産	19,093	19,389	固定負債	30,943	25,144
無形固定資産	8,087	6,352	特別法上の準備金	1,161	1,216
投資その他の資産	52,596	50,846	負債合計	441,107	266,335
<純資産の部>					
			株主資本	139,993	141,231
			資本金	18,589	18,589
			資本剰余金	16,420	16,466
			利益剰余金	108,728	109,857
			自己株式	△ 3,745	△ 3,682
			その他の包括利益累計額	13,439	13,391
			新株予約権	235	310
			非支配株主持分	22,468	23,765
			純資産合計	176,137	178,699
資産合計	617,244	445,034	負債・純資産合計	617,244	445,034

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

科 目	(単位：百万円)	
	前年度第2四半期累計 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当年度第2四半期累計 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業収益	39,312	36,346
① 受入手数料	24,859	22,081
② トレーディング損益	13,167	12,961
金融収益	871	877
その他の営業収益	414	426
金融費用	572	557
純営業収益	38,739	35,789
③ 販売費・一般管理費	34,274	33,203
営業利益	4,464	2,586
営業外収益	651	614
営業外費用	280	133
経常利益	4,835	3,067
特別利益	3,343	137
特別損失	4,864	15
税金等調整前四半期純利益	3,314	3,188
法人税、住民税及び事業税	2,310	728
法人税等調整額	△ 924	423
法人税等合計	1,386	1,151
四半期純利益	1,928	2,037
非支配株主に帰属する四半期純利益	572	493
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,356	1,544

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当第2四半期連結累計期間における営業収益は、前年同期比7.5%減の363億46百万円となりました。

①受入手数料

投資信託関連収益や株式委託手数料の減少により、受入手数料は前年同期比11.2%減の220億81百万円となりました。

②トレーディング損益

主に国内株式等トレーディング損益の減少により、トレーディング損益は前年同期比1.6%減の129億61百万円となりました。

③販売費・一般管理費

人件費が増加した一方、事務費、減価償却費などの減少により、販売費・一般管理費は前年同期比3.1%減の332億3百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経常利益は前年同期比36.6%減の30億67百万円、一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に特別損失を計上した反動から同13.9%増の15億44百万円となりました。

OKASAN TOPICS

岡 三 ト ピ ッ ク ス

新たなグループ企業

岡三キャピタルパートナーズ誕生

岡三証券グループは本年9月、ベンチャーキャピタルビジネスを行う新会社「岡三キャピタルパートナーズ」を設立しました。

同社は、先端ベンチャー企業への出資を通じた新規事業の創設や、フィンテック等の革新的な新サービスを提供するオープン・イノベーションへの取り組みを推進するとともに、IPO関連ビジネスの基盤強化を通じて、グループの証券子会社における法人関連ビジネスの収益拡大への貢献を目指してまいります。



岡三証券

岡山支店、堺支店を移転リニューアル

岡三証券は、本年5月に岡山支店、6月に堺支店の移転リニューアルを実施しました。

両店舗では、コンサルティングスペースやセミナールームの充実など、じっくりご相談いただける店舗、お客さまにお役立ていただける情報を積極的に発信する店舗づくりを推進しております。

今後も、地域に根ざした資産運用サービスのご提供に努めてまいります。



岡山支店 外観



堺支店 店頭

岡三オンライン証券

ご案内サービス「AIさくらさん」導入

岡三オンライン証券は本年8月、AI（人工知能）を活用したご案内サービス「AIさくらさん」を導入しました。

このサービスは、お客さまがチャット画面で入力した質問内容をAIが理解し、自動かつスピーディに適切な回答を行うもので、ご質問内容を自由に入力いただくことで自然な会話をしているようにコミュニケーションができ、お探しの情報をより迅速、柔軟にご案内することができます。

本サービスの導入により、24時間365日お客さまからのお問い合わせにお答えすることが可能となりました。



岡三アセットマネジメント

人民元建ソブリンファンド「夢元」を設定

岡三アセットマネジメントは本年8月、中国の関係当局から中国銀行間債券市場で取引を行うための中国外国為替取引システム(CFETS)のTradingIDを取得しました。

また、今回のID取得に伴い、同月より中国元建の中国ソブリン債に投資する「中国元建ソブリンマザーファンド」を、10月より同マザーファンドを主要投資対象とする公募投資信託「中国元建ソブリンオープン（愛称：夢元）」、「中国元建ソブリンオープン（元高米ドル安戦略）（愛称：夢元ドル戦略）」の設定・運用を開始しました。

